

第3学年 家庭科学習指導案

時間・場所 3校時 3年1組教室

学 級 3年1組35名(男子17名女子18名)

指 導 者 佐々木 花 絵

- 1 単元名 領域D 身近な消費生活と環境 (開隆堂 技術・家庭 家庭分野)
2 商品の選択と購入 ～商品購入のプロセス～

2 単元について

(1) 生徒観

小学校ですでに、商品購入の際には価格だけでなく品質や安全性、機能を考えることが大事だということを学習済みである。中学校では更に「保証」や「アフターサービス」までも考えて商品を購入する目を育てるねらいがある。今回、中学生が考えやすい身近な消費者問題について「自分ならどうするか」を考えさせることにより、消費者としての確かな目を養いたい。

(2) 教材観

私たちは、消費行動に際し、絶えず選択(意思決定)をしているが、生活に必要なもののみを購入できてくるとは限らない。その消費行動に関わる意思決定を確認するため、導入部分「筆箱の中身を見てみよう」で生徒にとって身近な文房具について、自分の消費行動を振り返る機会とする。次にDVD教材「商品を購入するには～自転車を例に考えよう～」を活用し、中学生のツトムくんが自転車を購入する際にインターネットで購入するか、店舗販売で購入するか迷う様子を見せる。主人公の行動で良かった点・問題点をあげる作業を通して、主体的に情報を活用し、自分が納得できる商品を選ぶためにはどのような情報が必要なのかを考えさせる。

(3) 指導観

授業では、自分の経験や考えをもとにグループで話し合い、DVDを用いてイメージしやすく、「その商品が自分にとって本当に必要なものか」「どういった情報があれば判断できるか」を考え、自らの生活でも主体的に判断し、意思決定できるように導きたい。

3 単元の目標

情報を収集・整理し、場面に応じて本当に必要な商品を選択・購入できるようになる。

4 単元の評価規準

生活や技術への 関心・意欲・態度	生活を工夫し 創造する能力	生活の技能	生活や技術についての知識・理解
・身近な販売方法に関心を持ち、その利点と問題点について考えようとしている。	・収集・整理した情報を活用して物資・サービスの選択、購入及び活用について考え、工夫している。	・物資・サービスの選択、購入及び活用について必要な情報を収集・整理することができる。	・中学生にかかわりの深い販売方法の特徴について理解している。 ・物資・サービスの選択、購入及び活用に関する知識を身に付けている。

5 学習計画 (「商品の選択と購入」全2時間 本時 1/2)

★商品購入のプロセス(0.5時間)

★生活情報の活用 (0.5時間)

- ・商品の価格 (0.5時間)
- ・販売方法と支払い方法 (0.5時間)

6 本時の指導

(1) ねらい

自分の目的にあった商品を購入するための情報を収集・活用することができ、自分の消費生活において場面に応じた選択・意思決定ができるように導く。

(2) 展 開

学 習 活 動	学 習 内 容	指導のための工夫・評価 (<input type="checkbox"/> ユニバーサルデザイン)
導入・自分の消費行動を振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> ・前時に取り組んだ「筆箱の中身を見てみよう」の学級の結果、事前アンケート結果を発表し、買い物で失敗した経験談などを共有する。 ・DVD を視聴する。消費者庁による教材「商品を購入するには～自転車を例に考えよう」問題提起編 	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/>アンケート結果を視覚化。 ・前時学習した「ニーズ」と「ウォンツ」を思い出させる。 <input type="checkbox"/>映像教材を使って理解を深める。
1. 学習課題	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">自分が納得できる商品を選ぶためには何が大切か。</div>	
2. 見通し 商品購入に必要な情報について考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・「中学生が自分のお小遣いで自転車を購入する」際、自分ならどういう行動をとるか、どんな情報が必要かを考えさせ、プリントに記入する。 ・本時のまとめの形式を予告する。 	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/>先の見通しが出来ることで今後の流れを知り理解が深まる。
3. 課題追求	<ul style="list-style-type: none"> ・DVD の続きを視聴する(問題発生編)。 ・主人公の良いところと問題点は何かを考えさせる。 ・各自付箋に記入し、班ごとにまとめたものを黒板に貼る。 ・教師が各班の共通部分や重要部分を選んで書き出す。 	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/>映像教材を使って理解を深める。 ・色別の付箋に良かった点、問題点を記入(個)→班で共有→小さいホワイトボードに書き、黒板に貼る。 <input type="checkbox"/>付箋をグルーピングすることで班ごとのまとめをしやすくする。
4. 本時のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・見通しの際に掲示した形式で、商品の選択の際に必要な情報をまとめる。 (<input type="checkbox"/>が空欄部分) <p>自分が納得できる商品を選ぶためには...</p> <ul style="list-style-type: none"> ●<input type="checkbox"/>ニーズと<input type="checkbox"/>ウォンツをを考えて買う・買わないを決める。 ●価格だけでなく<input type="checkbox"/>品質・<input type="checkbox"/>安全性・<input type="checkbox"/>機能性・<input type="checkbox"/>保証・<input type="checkbox"/>アフターサービス・<input type="checkbox"/>環境への影響などを考えることが大切。 ・自分自身が服を購入する際の商品購入のプロセスをチャート方式で確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/>先に見通しを持たせた「まとめ」の形式を使う。 <p>★必要な商品を購入するプロセスがわかる。(知)</p>
5. 振り返り 次時の確認	<ul style="list-style-type: none"> ・本時を振り返る。 ・次時を予告。 	<ul style="list-style-type: none"> ・プリント記入、何人か発表